SHO-BOND

製 品 説 明 書

ショーボンド　ネオパテＦ

C24040

系　　統　　２液無溶剤型エポキシ樹脂系パテ材

特　　長　　１）無溶剤型パテ材である。
２）プライマー、各種中塗り材との付着性に優れている。
３）機械的強度が大きい。

用　　途　　１）コンクリート保護工法用下地調整材
２）繊維シート接着工法用下地調整材（カーボン繊維、アラミド繊維、ビニロン繊維）

配　合　比　　主剤：硬化剤　＝　２：１　（重量比）

荷　　姿　　１０ｋｇセット（主剤／６．６７ｋｇ、硬化剤／３．３３ｋｇ）

外 観 性 状　　主　剤…白色パテ状
硬化剤…黒色パテ状
混合物…灰色パテ状

可使時間の目安
塗 装 間 隔

タ　イ　プ		冬　用（W）			夏　用（S）		
温　度［℃］		５	１０	２０	１５	２０	３５
可使時間［分］		７０	５５	３５	５５	５０	１６
塗装間隔	最短[時間]	２４	１６	８	２４	１６	８
	最長［日］	７	７	７	７	７	７

比　　重　　１．４０±０．２０　（硬化物）

標 準 使 用 量　　０．５kg/㎡

貯蔵保証期間　　１２か月（未使用、冷暗所保存）

消防法による
区　　分　　主　剤　指定可燃物　可燃性固体類
硬化剤　指定可燃物　合成樹脂類（その他のもの）

毒物及び劇物
取　締　法　　主　剤　該当しない
硬化剤　該当しない

日本接着剤工業会
ノンホルムアルデヒド
製 品 登 録　　Ｓタイプ：ＪＡＩＡ－００２９０９　Ｆ☆☆☆☆
Ｗタイプ：ＪＡＩＡ－００２９１０　Ｆ☆☆☆☆

使 用 方 法　　１）セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
２）色むらが無くなるまで、均一に混合撹拌する。
３）ヘラ、ゴムコテ等を用いて、すりつけるように下地調整を行う。

使用上の注意　　１）汚れ、油等の付着した塗膜への塗装は避ける。
２）湿潤面への施工は避ける。
３）原則として気温５℃以下、湿度８５％以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。
４）可使時間内に塗装作業を終了する。
５）塗装時は換気を十分に行い、火気厳禁とする。

⚠ 注　意

１．健康上、注意を要する物質を含有しています。
２．皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
３．取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
４．詳細については安全データシート（ＳＤＳ）を参照してください。

SHO-BOND

製　品　説　明　書

ショーボンド　ネオパテＦ（WW）

G22120

系　　統　　２液無溶剤型エポキシ樹脂系低温用パテ材

特　　長　　１）無溶剤型パテ材である。
２）プライマー、中塗り材との接着性に優れる。
３）低温硬化性に優れる。

用　　途　　１）低温用（－５℃～１０℃）繊維シート接着工法用不陸調整材

配　合　比　　主　剤：硬化剤　＝　２：１　（重量比）

荷　　姿　　１０kg セット　（主剤／６．６７kg、硬化剤／３．３３kg）

外観性状　　主　剤…白色パテ状
硬化剤…黒色パテ状
混合物…灰色パテ状

可使時間の目安

温　　度　［℃］		－５	５	１０
可使時間　［分］		９０	５５	３５
塗装間隔	最短〔時間〕	４８	２４	１６
	最長〔日〕	７	７	７

比　　重　　１．５０±０．１０　（硬化物）

貯蔵保証期間　　１２か月　（未使用、冷暗所保存）

消防法による区分　　主　剤　指定可燃物　可燃性固体類
硬化剤　指定可燃物　可燃性固体類

日本接着剤工業会ノンホルムアルデヒド製品登録　　ＪＡＩＡ－０１０５７５　Ｆ☆☆☆☆

毒物及び劇物取締法　　主　剤　該当しない
硬化剤　該当しない

使用方法　　１）主剤、硬化剤を配合比に従って、秤量して使用する。
２）計量した主剤、硬化剤を撹拌機で均一になるまで十分に混合撹拌する。
３）ヘラ、ゴムコテ等を用いて、すり付けるように下地調整を行う。

使用上の注意　　１）汚れ、油等の付着した塗膜への塗装は避ける。
２）結露等湿潤面への施工は避ける。
３）可使時間内に作業を終了する。
４）塗装間隔が７日以上となる場合は、被塗面をサンドペーパー等で処理する。
５）施工温度は－５℃～１０℃とする。

ショーボンド　ネオパテＦ（WW）は、低温用に開発された繊維シート接着工法用不陸調整材です。
従来のネオパテＦの製品規格と異なりますので注意してください。

⚠ 注　　意

１．健康上、注意を要する物質を含有しています。
２．皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
３．取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
４．詳細については安全データシート（ＳＤＳ）を参照してください。